

## 令和元年度 第34回九州地区連絡協議会開催報告

令和元年6月29日（土）、佐賀県佐賀市において第34回麻布大学同窓会九州地区連絡協議会（九州ブロック総会）が開催されました。

昨年度は、台風の影響により佐賀県支部が欠席されましたが、今年度は、過去最も遅い梅雨入りとなり、時折、豪雨に見舞われはしましたが、全支部が参集しました。

開会に先立ちまして、各県支部会員の物故者を偲んで黙祷を捧げました。続いて、長友士郎会長（宮崎県支部長 昭和36年卒）から開会の挨拶があり、これまでの九連協議会の歴史等の紹介があった後、ご来賓の福山大学同窓会長、浅利学長から、それぞれ大学の近況を含めたご挨拶をいただきました。議事については、決算、予算に続き、来年度改選があります麻布獣医学園九州地区評議員と次期九連協議会会長の推薦について協議され、長時間にわたる協議の結果、小澄正敬副会長（熊本県支部長 昭和51年卒）を推薦することになりました。小澄副会長におかれましては、「九州はひとつ」という思いを継承しながら、今後の同窓会の改革や更なる発展に寄与いただけたらと思っております。協議会の予定時間も大幅に超過しましたが、続いて熱い語らいの懇親会へとなれ込みました。

懇親会は、協議会出席者に加え、佐賀県支部の先生方も多数参加いただき、盛大に開催されました。開催県の佐賀県支部江永顧問（昭和46年卒）のあいさつと福山会長の乾杯の音頭で宴の始まりです。ご当地の日本酒などを片手に、佐賀牛などおいしい料理を囲みながら、それぞれの近況や、大学や同窓会のあり方について世代を超えて思いの丈をぶつけ合うことができ、とても有意義で貴重な時間でした。締めは、来年度開催県の鹿児島県支部松田支部長（昭和56年卒）の梅雨空をも飛ばすくらいの力強い一本締めで鹿児島県での再会を約束しました。

